

比地滑り

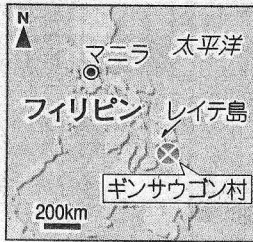
死者最大3000人も

救助難航 新たな生存者なし

【ギンサウゴン(フィリピン中部レイテ島)18日の南レイテ州(レイテ島)リピン中部レイテ島】



18日、フィリピン中部南レイテ州(レイテ島)セントバーナード付近で起きた地滑りの被災地ギンサウゴン村で、シャベルを手に捜索活動を行つた人々(AP共同)



セントバーナード付近で起きた地滑りで十八日、軍などは捜索活動を続けたが、十七日に五十七人が救出された後、新たな生存者は見つかっていない。被災地のギンサウゴン村周辺は、断続的な雨が降るなど天候は不安定。レリアス州知事は二次災害の恐れがあり、捜索は「危険で困難だ」と強調した。救助作業は今後も難航しそうだ。(6面に関連記事)

これまでに百人以上の死亡が確認されたとの情報があるが、救助当局者らは死者・行方不明者が最大三千人を超える可能性を指摘。AP通信によると、現場の軍幹部は約千八百人が犠牲になったとの見方を示した。軍などは十八日、ヘリ

コプターなどの風圧による二次災害を防ぐため、一部の被災地上空の飛行を禁止し、陸上の救助作業も重機などを使わないよう呼び掛けた。地元当局者によると、ギンサウゴン村を含む周辺十一の村の住民ら三千人以上が避難所に移動した。

十七日の被災当時、教諭と児童合わせて約二百五十人がいたとみられる小学校での救出について、レリアス州知事は「生存者がいる兆候はないが、希望は持ち続けている」と語った。

AMD A調整員 比到着

フィリピン・レイテ島で発生した大規模な地滑りの被災者支援へ、国際医療ボランティアAMD A(本部・岡山市櫛津)

またAMD Aは日本から医師、看護師計二人の追加派遣を決めた。十九日に出発し、二十日に被災地入りする予定。

の調整員奥谷充代さんが十八日、岡山市を出発し、マニラに到着した。十九日、被災地に入る。

奥谷さんはマニラで、金光教平和活動センター現地事務所職員一人と合流。被災地では同国南

部レイテ医師会とともに医薬品、食料品などの物資を調達するといふ。出発に先立ち、奥谷さんはJR岡山駅で「現地の地理に詳しいAMD Aフィリピン支部などの指示を受けながら早急に医療ニーズを見極め、今後の支援を考えたい」と話した。(長安亜矢子)